

市立幼稚園における幼児教育の在り方についての答申

資 料 編

【基本資料】		
桐生市立幼稚園概要	資料 1
評点評価	資料 2
幼稚園入園予定状況	資料 3
各幼稚園までの通園距離（一覧表）	資料 4
各幼稚園までの通園距離（配置図）	資料 5
【統合園】		
統合後の園	資料 6
広聴会での意見のまとめ	別 紙

桐生市立幼稚園の概要

平成18年5月1日現在

園名	5歳児		4歳児		計		保育室数	園舎面積 (㎡)	園庭面積 (㎡)	改築年度	設置年月
	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数					
東	10	-	4	-	14	1	4	681	928	昭46	昭34.4
西	22	1	16	1	38	2	5	1,093	730	昭55	明19.8
南	8	-	11	-	19	1	3	799	1,037	平10	昭5.1
北	16	1	11	1	27	2	4	748	600	昭47	昭40.4
昭和	7	-	7	-	14	1	3	669	1,828	昭50	昭40.4
境野	26	1	13	1	39	2	6	929	1,125	昭46	昭29.4
広沢	32	2	28	1	60	3	5	978	1,320	昭56	昭31.1
梅田南	10	-	3	-	13	1	2	470	420	昭53	昭34.10
相生	25	1	12	1	37	2	5	924	1,052	昭52	昭42.1
川内南	10	1	14	1	24	2	4	678	800	昭48	昭39.9
桜木	8	-	10	-	18	1	5	934	1,913	昭47	昭44.4
菱	11	-	12	-	23	1	3	693	544	昭49	昭46.4
天沼	25	1	23	1	48	2	4	729	1,655	昭48	昭49.4
神明	13	1	13	1	26	2	5	979	1,247	昭54	昭54.1
合計	223	9	177	8	400	23	58				

資料 2

評点評価

平成18年5月1日現在

園名	保育室数	評点	園舎面積 (㎡)	評点	園庭面積 (㎡)	評点	改築年度	評点	平成18年度 就園園児数 (人)	評点	設置年月
東	4	8	681	4	928	6	昭46	2	14	3	昭34.4
西	5	13	1,093	14	730	4	昭55	12	38	11	明19.8
南	3	4	799	8	1,037	7	平10	14	19	5	昭5.1
北	4	8	748	7	600	3	昭47	4	27	9	昭40.4
昭和	3	4	669	2	1,828	13	昭50	8	14	3	昭40.4
境野	6	14	929	10	1,125	9	昭46	2	39	12	昭29.4
広沢	5	13	978	12	1,320	11	昭56	13	60	14	昭31.1
梅田南	2	1	470	1	420	1	昭53	10	13	1	昭34.10
相生	5	13	924	9	1,052	8	昭52	9	37	10	昭42.1
川内南	4	8	678	3	800	5	昭48	6	24	7	昭39.9
桜木	5	13	934	11	1,913	14	昭47	4	18	4	昭44.4
菱	3	4	693	5	544	2	昭49	7	23	6	昭46.4
天沼	4	8	729	6	1,655	12	昭48	6	48	13	昭49.4
神明	5	13	979	13	1,247	10	昭54	11	26	8	昭54.1
合計	58										

評点順位表

順位	園名	保育室数		園舎面積		園庭面積		改築年度		平成18年度 就園園児数		合計	平均
		評点	順位	評点	順位	評点	順位	評点	順位	評点	順位		
1位	広沢	13	2位	12	3位	11	4位	13	2位	14	1位	63	12.6
2位	神明	13	2位	13	2位	10	5位	11	4位	8	7位	55	11.0
3位	西	13	2位	14	1位	4	11位	12	3位	11	4位	54	10.8
4位	相生	13	2位	9	6位	8	7位	9	6位	10	5位	49	9.8
5位	境野	14	1位	10	5位	9	6位	2	13位	12	3位	47	9.4
6位	桜木	13	2位	11	4位	14	1位	4	11位	4	11位	46	9.2
7位	天沼	8	7位	6	9位	12	3位	6	9位	13	2位	45	9.0
8位	南	4	11位	8	7位	7	8位	14	1位	5	10位	38	7.6
9位	北	8	7位	7	8位	3	12位	4	11位	9	6位	31	6.2
10位	昭和	4	11位	2	13位	13	2位	8	7位	3	12位	30	6.0
11位	川内南	8	7位	3	12位	5	10位	6	9位	7	8位	29	5.8
12位	菱	4	11位	5	10位	2	13位	7	8位	6	9位	24	4.8
13位	東	8	7位	4	11位	6	9位	2	13位	3	12位	23	4.6
14位	梅田南	1	14位	1	14位	1	14位	10	5位	1	14位	14	2.8

「15」から各項目の順位を引いたものを評点とした。

資料3

幼稚園入園予定状況

平成18年5月1日現在

		入園率 (%)	平成18年度入園実数			平成19年度入園予定			平成20年度入園予定			平成21年度入園予定		
			対象者	入園者数	計	対象者	入園者数	計	対象者	入園者数	計	対象者	入園者数	計
東幼稚園	5歳	18.52%	54	10		61	11		49	9		55	10	
	4歳	6.56%	61	4	14	49	3	14	55	4	13	48	3	13
西幼稚園	5歳	46.81%	47	22		60	28		61	29		47	22	
	4歳	26.67%	60	16	38	61	16	44	47	13	42	48	13	35
南幼稚園	5歳	22.86%	35	8		33	8		30	7		23	5	
	4歳	33.33%	33	11	19	30	10	18	23	8	15	26	9	14
北幼稚園	5歳	29.09%	55	16		49	14		41	12		51	15	
	4歳	22.45%	49	11	27	41	9	23	51	11	23	35	8	23
昭和幼稚園	5歳	26.92%	26	7		38	10		24	6		21	6	
	4歳	18.42%	38	7	14	24	4	14	21	4	10	21	4	10
境野幼稚園	5歳	24.76%	105	26		86	21		78	19		79	20	
	4歳	15.12%	86	13	39	78	12	33	79	12	31	87	13	33
広沢幼稚園	5歳	26.02%	123	32		116	30		117	30		117	30	
	4歳	24.14%	116	28	60	117	28	58	117	28	58	109	26	56
梅田南幼稚園	5歳	22.22%	45	10		23	5		34	8		28	6	
	4歳	13.04%	23	3	13	34	4	9	28	4	12	35	5	11
相生幼稚園	5歳	28.41%	88	25		79	22		83	24		91	26	
	4歳	15.19%	79	12	37	83	13	35	91	14	38	88	13	39
川内南幼稚園	5歳	11.36%	88	10		86	10		76	9		70	8	
	4歳	16.28%	86	14	24	76	12	22	70	11	20	76	12	20
桜木幼稚園	5歳	16.67%	48	8		62	10		59	10		46	8	
	4歳	16.13%	62	10	18	59	10	20	46	7	17	45	7	15
菱幼稚園	5歳	23.91%	46	11		41	10		38	9		43	10	
	4歳	29.27%	41	12	23	38	11	21	43	13	22	19	6	16
天沼幼稚園	5歳	24.75%	101	25		105	26		126	31		92	23	
	4歳	21.90%	105	23	48	126	28	54	92	20	51	102	22	45
神明幼稚園	5歳	22.03%	59	13		57	13		41	9		42	9	
	4歳	22.81%	57	13	26	41	9	22	42	10	19	50	11	20
計	5歳	24.24%	920	223		896	218		857	212		805	198	
	4歳	19.75%	896	177	400	857	169	387	805	159	371	789	152	350

注1) 入園率：平成18.5.1現在における入園率

注2) 平成18年度の入園率をもとに、各小学校区の幼児が同様の割合で市立幼稚園に就園すると仮定した場合にどのくらいの園児数になるかを示したもの

資料 4

最長通園距離

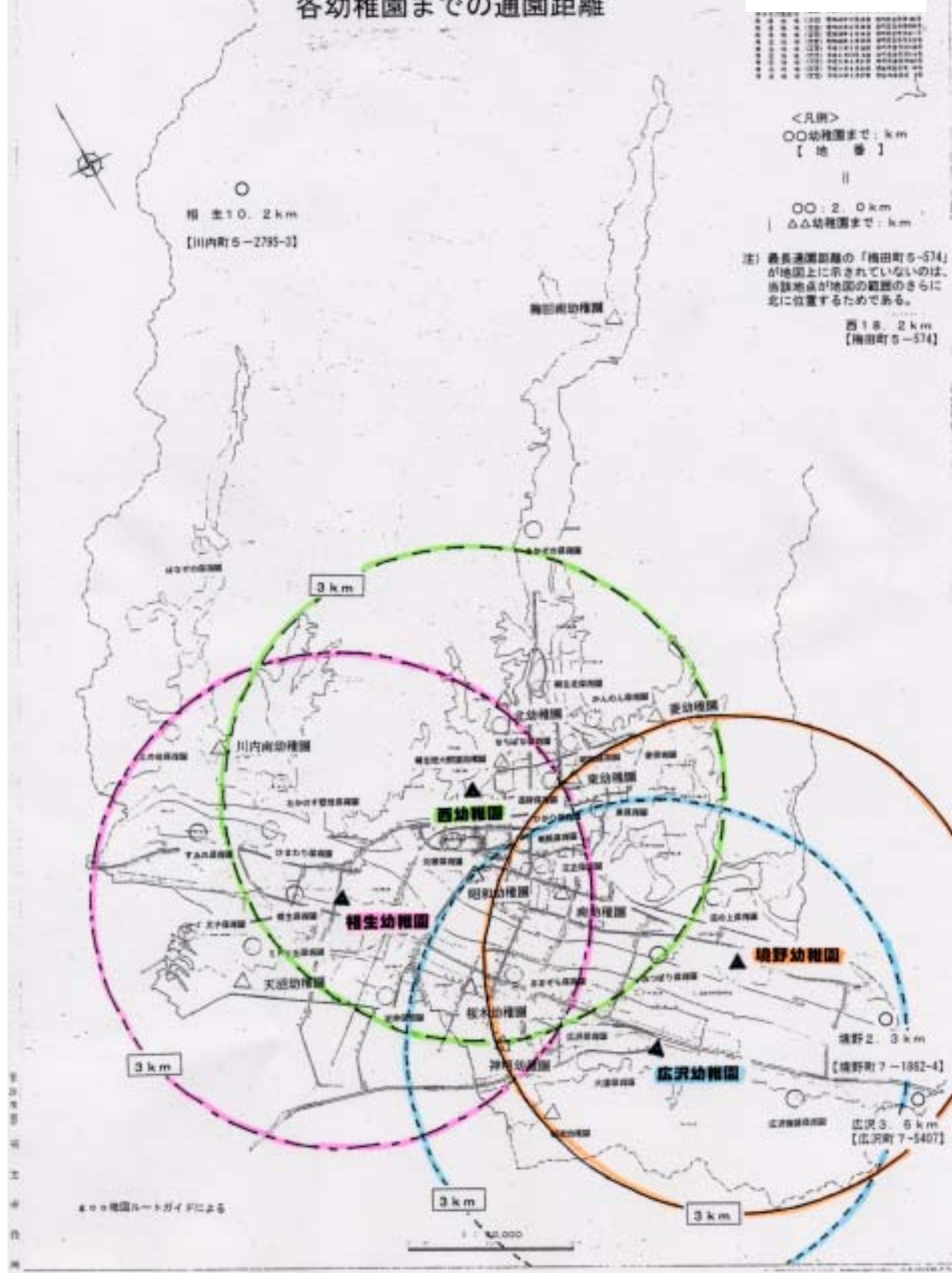
項目 園名	統合後の園 : 4 園	
	距離	最長地点
西幼稚園	18.2 km	梅田町5丁目-574
境野幼稚園	2.3 km	境野町7丁目 1862-4
相生幼稚園	10.2 km	川内町5丁目 2795-3
広沢幼稚園	3.6 km	広沢町7丁目-5407

隣接園までの距離

項目 園名	距離	隣接園	距離	隣接園
西幼稚園	2.4 km	相生幼稚園	4.5 Km	境野幼稚園
境野幼稚園	3.3 Km	広沢幼稚園	4.5 Km	西幼稚園
相生幼稚園	2.4 km	西幼稚園	4.6 km	広沢幼稚園
広沢幼稚園	3.3 Km	境野幼稚園	4.6 km	相生幼稚園

資料 5

各幼稚園までの通園距離



資料 6

市立幼稚園：統合後の園（4園）

平成20年度

使用園舎	園名		5歳児	4歳児	3歳児	合計	保育室数	
西幼稚園	西幼稚園	園児数	29	13		42		
	北幼稚園	園児数	12	11		23		
	東幼稚園	園児数	9	4		13		
	南幼稚園	園児数	7	8		15		
	昭和幼稚園	園児数	6	4		10		
	菱幼稚園	園児数	9	13		22		
	梅田南幼稚園	園児数	8	4		12		
	合計			80	57		137	
	学級数			3	2	0	5	5
境野幼稚園	境野幼稚園	園児数	19	12		31		
	合計		19	12	15	46		
	学級数		1	1	1	3	3	
広沢幼稚園	広沢幼稚園	園児数	30	28		58		
	神明幼稚園	園児数	9	10		19		
	桜木幼稚園	園児数	10	7		17		
	合計		49	45	15	109		
	学級数		2	2	1	5	5	
相生幼稚園	相生幼稚園	園児数	24	14		38		
	天沼幼稚園	園児数	31	20		51		
	川内南幼稚園	園児数	9	11		20		
	合計		64	45	15	124		
	学級数		2	2	1	5	5	
合計			212	159	45	416		
学級数			8	7	3	18	18	

学級編成は5歳児30人学級、4歳児25人学級、3歳児20人学級を市の基準としたが、3歳児については試験的導入により1クラス定員を15人とした。

園児数の合計の欄で色が濃くなっているところは、市の学級編制基準を超えているところである。

園児数については、平成18年5月1日現在における入園率をもとに算出した。（資料3参照）

幼稚園に通園区は設けられていないが、統合各園に通園するおおよその園児数を把握するため、隣接する各園を便宜的に組み合わせた。

【4園案の考え方】

- ・ 4園の理由：地域バランスを最重要視し、これに効率性を加味して選定する。
- ・ 評点評価を基準として選定すると、「西」「境野」「広沢」「相生」となる。

項目	集約	主な意見
公立幼稚園を選んだ理由	近い、安い、兄弟が公立幼稚園だったからなど	<ul style="list-style-type: none"> ・近いから。(小学校区内に一つずつあって便利) ・授業料が安いから。 ・補助金が出ていれば、私立の保育園や幼稚園も視野に入れた。 ・母親自身が働いていないから。 ・上の子も公立幼稚園だったから、自分も公立幼稚園を卒園したから。 ・保護者同士の付き合いが濃く、そのまま小学校へ継続されるので、小学校入学時に心配が少ない。 ・学校給食が配送されているので、小学校に行ったときに給食の苦勞が少ないから。 ・公立幼稚園を見て子供が非常に伸び伸びとしていたので保育園から公立幼稚園に変えた。

公立幼稚園の意義	各小学校に付属的に設置されているので、幼・小・中の連携が取れている。また、同様に地域との連携も取れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・園長先生が小学校の校長先生ということで、小学校の図書館に行ったり、いろいろな幼・小・中の連携が取れていて、小学校に入学するときに親も子供も安心して通うことができるというメリットは大きい。 ・桐生市の公立幼稚園のいいところは、各小学校に幼稚園があり、小学校の行事にも参加でき、小学校との連携が取れているところである。また、中学生が体験学習ということで幼稚園に遊びに来てくれることもあるので、園児はそれをとて楽しみにしている。さらに、地域の人たちとも交流があり、地域の目が子供達に届き、とてもいい環境だと思う。通園範囲が広くなると、今までのように目が届かなくなるのではないかと不安になる。 ・幼稚園と小学校の連携、また、中学校との連携というのはよいと思う。桐生市の各小学校に一つずつ幼稚園があるというシステムは、システムができた当初から最先端を行っていて、今でも全国的に珍しいもの。これはある意味で、桐生市の文化なのではないか。
	公立幼稚園の指導方針が良い。 先生方や他の母親に子育てについて相談できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・今の母親達は本や雑誌などで多くの情報を持っているが、子育てを1人で抱え込んでいる場合が多くて、精神的な負担となっている。同年代の同じ子育て中のお母さん方の関わりが、その負担を減らして、子育ての楽しさを知る余裕の持てることだと思っている。送迎が必要で、親同士も密接な公立幼稚園は、子供だけでなく、子供をかわいがれるお母さんを育ててくれると思う。 ・子供だけでなく、親も教育するということを実践している公立幼稚園をなるべく残してほしい。 ・3人の子供を公立幼稚園に入れてみて、少人数の弊害というのを全く感じない。それどころか、少人数による幼児教育の重要さというのを実感している。人数が多いと、先生方が指示して、まとめて動かそうとする動きというのは出てくる。公立幼稚園のよいところは、園児一人一人の気持ちを先生方が受け止めてくれる、大事にしてくれる、子供同士のゆったりした環境での遊びの中で、トラブルが起きたとしても、先生方が教えるのではなくて、子供に考えさせ、気づかせてくれる。このことが、子供の身に付くことだと思う。 ・桐生市の公立幼稚園のような幼稚園が増加すれば、少年犯罪が減るのではないかと私は実感している。集団というが、幼児教育は、まず、一人一人の気持ちを育てることが大事で、子供達が意欲や関心を持ったことを先生方が受け止めてくれれば、子供達は自分に自信を持つ。その自信は、ほかのことをやろうとする意欲にも繋がってくる。これは、英語を学ぶとか、逆上がりができるとか、そういうことよりも本当に大切なことであって、民営化すれば保護者受けするような教育内容にもなりかねない。
	収入の少ない家庭にとって公立幼稚園は必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・若い、収入の少ない、母親が仕事に行けない家庭にやさしくない桐生市になってしまっは、これからもっと子供が減り、桐生市は老いて行ってしまうのではないか。公立だからこそ、収入の少ない若い世代の子を数多く通わせることができるのだと思う。

項 目	集 約	主 な 意 見
統合後の園数	<p>4園を導き出した考 え方に疑問がある。</p> <p>もっといろいろな条 件を考慮した上で、き めるべきである。</p>	<p>・4園という数字は延べ人数を適正な数で割って出したということが、本当にそれでよいのか。地域によって、幼稚園、保育園の数がかなり違い、多いところもあれば少ないところもある。それをただ、延べ人数を割っただけで決めてしまっ てよいのか。実際に幼稚園に通わせている親の目から見れば、不自然ではないか と思うので、4園ということにこだわらずに、もう少し増やしてもよいのではな いかと思う。</p> <p>・数字だけで4園というのはどうなのか。桐生の地形や文化などを考え、数を決 定したほうがよい。</p> <p>・統合については、集団の中でいろいろな経験をして成長するこの年代の子供に とっては考えなくてはならないことだと思う。しかし、定員 MAX150人という のは、昭和50年頃の子供がたくさんいたときの話で、今の少子化の中で4園ま で減らして定員を150人にするのはとても無理があるように思う。園舎、園庭、 遊具など(150人)を受け入れられる幼稚園がいくつあるのかとても疑問に思 う。</p> <p>・考える会では、園児が400人を割り込み、適正の人数が50人～100人だ から、その上限で400人を割って4園を出しているが、これは乱暴な考え方。 小学校や中学校も統合の話が出ているが、そこでこんな決め方をしたらどうなる のかと思い、中学校について計算してみた。黒保根、新里を除く旧市内に12校 の中学校があり、2,800人の生徒がいる。適正規模といわれている数で割ると4 校でいいということになる。今、「桐生市の中学校を4校にします、後は廃校に します」と言ったら、どんなことになるのか、こんな乱暴な議論はない。今、中 学・考える会では、園児が400人を割り込み、適正の人数が50人～100人 だから、その上限で400人を割って4園を出しているが、これは乱暴な考え方。 小学校や中学校も統合の話が出ているが、そこでこんな決め方をしたらどうなる のかと思い、中学校について計算してみた。黒保根、新里を除く旧市内に12校 の中学校があり、2,800人の生徒がいる。適正規模といわれている数で割ると4 校でいいということになる。今、「桐生市の中学校を4校にします、後は廃校に します」と言ったら、どんなことになるのか、こんな乱暴な議論はない。今、中 学校の統合がどのように進んでいるかということ、やはり、統合するに当たって考 えなくてはいけない条件とか、土台がある。</p> <p>地域によって園児数の差があり、園児の多い園は比較的南のほうにあるが、そう いった地域の差というものも考えていない。地域の特性というものもある。梅田 中は小さいながらも、その地域に残るということを決めたわけである。通遠距離 も考えなくてはいけないし、統合したときに保育室の数が足りるのか、園庭の広 さは十分なのか、足りなければ新しく作るか、増築するのかということも考えら れていない。</p> <p>小学校との連携は桐生の公立幼稚園のよいところの一つだと思うが、小学校の統 合も進み、それとの関連というのも出てくると思う。廃校になる小学校の近くに 大きな幼稚園を作っても仕方がない。そういったことを考慮しないで、ただ単に 割り算だけで4園という数字が出てきたというのはあまりにも乱暴ではないか。 統合を考える上での土台を考えて、その上でできるだけ適正規模の近づけるよ うに、どこどこを統合したらよいのかを踏まえて、4園とか7園とか出てきた数 字なら納得できると思う。</p>
	4園は少なすぎる。	<p>・距離的にも、容量的にも4園では少なすぎる。せめて、最初に教育委員会で提 案していた7、8園くらいはあってよい。</p> <p>・これからの市立幼稚園を考えたときに、統合はやむを得ないと考えている保護 者もいる。しかし、いきなり4園というのは極端であると思う。</p> <p>・中学校になれば自転車を通える、でも小学校は自転車では通えない、というこ とを考えると幼稚園の統廃合はできる限り少なくして欲しい。</p>
	4園では多すぎる。	<p>・桐生市の幼児数は、5年後を見ると633人になり、今よりも266人減る。 果たして今出ている4園でいいのかということも大きな問題である。</p>

項目	集約	主な意見
統合の時期	統合の時期が早すぎる。 もっと考える時間がほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の数が少なくなっているため統合というのは多少やむを得ないと思うが、小学校の統廃合が何年か先にあるということが、正式には出ていないが、(情報として)入ってきている。小学校が投合する時を待つ幼稚園も統合してもらえないのか。そのほうが私なら、安心して、公立幼稚園に預けられると思う。 ・今まで通っていた幼稚園がなくなるという時には、1学年だけで1年間を過ごすのか、あるいは、統合したほうの幼稚園に移って過ごすのか、どちらなのか。統合の計画を知ったのは今年に入ってからで、それで20年というのはとても早過ぎる。その前に、年頃の子供を持つ家庭には知らせて、残るほうの幼稚園に入れるのか、なくなってしまうほうの幼稚園に入れるのかを考える時間が必要であり、何年に統合するということをもっと早めに公表することが必要ではないかと思う。

公立幼稚園の統合について	子供にとって、良い環境になればよい。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の内容が充実し、保育料が安く、3年保育を導入してもらって、統合によって園児数が増えて、子供が切磋琢磨していく環境ができればよいという意見が大多数。 ・少子化で統廃合もやむをえないだろうが、少子化だからこそ、子供一人一人を大事にしてほしい。
	財政難だからといって、教育費から削減されるのは納得できない。 桐生で子育てをする人はいなくなってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命働いて税金を納めている人の子供なのに、どうして教育から削られるのかが分からない。市の施設とかいろいろなことに関して無駄なものというのはいろいろあると思うし、これもしました、これもしました、それでも財政的に足りないで幼稚園もお願いしますというのならわかるが、なぜ、すぐに幼稚園に来たのが私には正直分からない。最初に子供にしわ寄せが来るのがすごく残念だと思う。このままだと子供たちは桐生から出て行ってしまふのではと思う。桐生に来て住んでも、子育てをするということに関して、居心地が悪いとしか思えない。 ・せっかく各小学校に併設という好条件を作り上げたのに、少子化や財政難というだけで統合を実行するのはもったいないと思う。桐生市は子供が少なくなっているのに、今以上に子育てをしにくい地域になってしまうのではないかと。公立幼稚園の急な統合は少子化を自ら進めているように思う。 ・桐生を愛する未来の納税者に多少お金を掛けてもらってもよいのではないかと。
	通園距離が長くなるので、その対策を考えてほしい。 通園距離などを考えて、統合を考えてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園は小学区内にあり、歩いていくとか自転車で行くとかが可能なので、車の運転免許を持っていない人やペーパードライバーの保護者にとっては、必要であると思う。 ・なるべくなら歩いて通わせて、小学校に上がるまでに交通ルールを教えたい。 ・上の子の送り迎えは徒歩で行っていた。毎日同じ時間に通るので、地域のおじいちゃん、おばあちゃんが声をかけてくれた。これは、今考えると子供のためにとてもよい教育であった。遠くなって車での送り迎えということになるとそういった地域とのコミュニケーションが親も子もなくなってしまうし、徒歩や自転車で通うことによる教育というものもあると思う。 ・車での送り迎えが多くなるなら、駐車場などを整備してほしい。 ・隣の学区なら何とか通えても、4園まで絞ると、その隣の隣の隣ぐらいまでになってしまうととても通えないという意見もあった。毎日のことであるし、下に小さなお子さんがいるお母さんは少しでも近いほうが送り迎えもしやすいし、遠くに行くのはなかなか大変だと思う。 ・人数あわせでなく、登園する地域等を考えてほしい。 ・通園バスを出してくれるのか。 ・車での送迎だとガソリン代が発生し、家庭の負担が出てくるときに、市ではどういったフォローをしてくれるのか。

項 目	集 約	主 な 意 見
3 歳児保育の導入	<p>3 歳児保育は国の施策にもあり、保護者もその導入を 10 年以上も要望している。</p> <p>子供の育ちからの面から言っても必要。</p> <p>1 園での試行的な実施ではなく、(統合された園の)全園での実施を要望する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 歳児保育の導入は早急に行ってほしい。それも試験的というのではなく、全園での実施を希望する。 ・ 3 歳児保育の導入がもっと早くから検討されていれば、3 歳児のみならず、4 歳児、5 歳児も今よりもっと増えていたのではないかと思う。 ・ 働いている人だけが保育園で 3 歳児教育が受けられて、我慢して子供と一緒に子育てを楽しみたい、小学校に上がる前までは子供と一緒に過ごしたいと思っている人が 3 歳児保育を受けられないのは不公平だと思う。 ・ 3 年保育が導入されれば、一番下、真ん中、一番上のお兄さん、お姉さんという関係を味合わせてくれるのではないか。 ・ 子供も 3 歳ぐらいになると興味も行動範囲も広がり、親との関わりだけではもてあましてしまいどこかの集団で遊ばせたい、同年代の子供と関わらせたいという思いがあるが、今の公立幼稚園はそういうニーズを満たせていない。 ・ 市民が望んでいることは、お金の使い道を考えてほしいということ。ほかのところでお金を削るのであれば、3 年保育にもお金を回して欲しい。 ・ 各園、空き教室があると思うし、若い幼稚園の先生を目指している人もたくさんいると思う。国も保護者も先生方も 3 年保育は必要だと考えているのに桐生だけ取り残されてしまうのはどうなのかと思う。 ・ 3 歳児は自立し始め、食べることやトイレをみんなとならやってみようと思う考えを持つ時期。今の時代は、公園で遊んでいる子供も少なく、お友達を作ることができなくなっているのが現状である。3 歳の子供を持つ親は、幼稚園は無理だから、保育園に通わせたほうが良いかと悩む親はたくさんいる。しかし、保育園は働いていないとダメだとか、事情がないとは入れない。でも、仕事を持ちたくても持てない人もいる。だから、幼稚園で 3 歳児保育を始めれば、幼稚園に預ける親も多くなると思うし、少子化だからこそ、3 歳児保育を導入してほしいし、それ・3 歳児は自立し始め、食べることやトイレをみんなとならやってみようと思う考えを持つ時期。今の時代は、公園で遊んでいる子供も少なく、お友達を作ることができなくなっているのが現状である。3 歳の子供を持つ親は、幼稚園は無理だから、保育園に通わせたほうが良いかと悩む親はたくさんいる。しかし、保育園は働いていないとダメだとか、事情がないとは入れない。でも、仕事を持ちたくても持てない人もいる。だから、幼稚園で 3 歳児保育を始めれば、幼稚園に預ける親も多くなると思うし、少子化だからこそ、3 歳児保育を導入してほしいし、それは全園で実施してほしい。 ・ 幼児教育を考える会の資料に、「幼稚園にあがるまで友達を得る場所がない」、親も「人と交流する機会が少なく、子育ての大変さを共有したり、楽しさを共感したりする仲間が持ちにくく子育ての孤立化が見られる」と書いてあった。経済的にも、全員が保育園や私立幼稚園に行けるわけではないので、3 歳児保育を導入して、3 歳の大事な時期に子供にも、大人にも、人と関わる場を作ってほしい。もし、統合された場合は、1 園ではなく全園で 3 歳児保育をやってほしい。 ・ 3 歳児保育の早期導入を 10 年以上前から、毎年毎年陳情しているわけで、長い間ニーズがあるわけである。しかし、なぜ実現してこなかったのか不思議でならない。民業圧迫だとか財政難だといっているがそれは大人の都合である。子供にとって必要なことを潰してしまうのはいけない。大人の都合は話し合いで折り合いをつける努力をしてほしい。とにかく前に進んでほしい。10 年間、陳情しても一向に進まないのは非常に不可解。もちろん、民間の人に理解を得るということも大事だが、市のほうでも私学への助成とか、公立幼稚園の保育料の見直しとかあ・3 歳児保育の早期導入を 10 年以上前から、毎年毎年陳情しているわけで、長い間ニーズがあるわけである。しかし、なぜ実現してこなかったのか不思議でならない。民業圧迫だとか財政難だといっているがそれは大人の都合である。子供にとって必要なことを潰してしまうのはいけない。大人の都合は話し合いで折り合いをつける努力をしてほしい。とにかく前に進んでほしい。10 年間、陳情しても一向に進まないのは非常に不可解。もちろん、民間の人に理解を得るということも大事だが、市のほうでも私学への助成とか、公立幼稚園の保育料の見直しとかあるかもしれない。そういったことを話し合っ、何とか折り合いをつけて、3 歳児保育をぜひ実現してほしい。
	公立幼稚園での 3 歳児保育の導入は、民業圧迫にはならない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ もともと保育園と幼稚園では目的がかなり異なり、両親がともに働いている家庭は公立幼稚園が 3 歳児保育を導入しても、そこに行くことはほとんどないと思われる。また、桐生の旧市内にある 2 つの私立幼稚園はかなり特色があるので、こちらから公立幼稚園に子供が多く移るということは考えにくい。そして桐生市の場合、保育園の定員数が子供の数を上回っているということで、母親が働いていなくても書類が整えば、子供を保育園に入園させることができるらしいが、だからといって私立が公立幼稚園の 3 歳児保育導入に反対するのは筋違い。 ・ 3 歳児保育が民業圧迫になるといって、それほど圧迫しないと思う。私立、公立それぞれの良さがあり、選択するのは親なのだから、圧迫するほどのものではない。とにかく、3 歳児保育の導入は実現できるように、話し合っしてほしい。

項 目	集 約	主 な 意 見
預かり保育	預かり保育を実施してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・終了後保育については、働いているお母さん方もいるので、できるのであればお願いしたい。 ・今、働くなら保育園、働いていないなら幼稚園という選択肢しかない。働いている人でも、幼稚園に通わせたいと思う親もいると思うので、保育園ほど長時間でなくてもいいから、預かり保育をやってほしい。 ・今の状況では中途半端であり、しっかりした体制を作ってほしい。その時に、学童保育のあり方が参考になるのではないか。確かに、幼児教育は2時までで十分だと思う。小学校の1年生も午前中で帰ってくるわけであるし。ただ、どうしても預かってほしいという時に小学校なら学童保育がある。学童保育というのは、学校から一旦気持ちの上で切れて、家庭的な雰囲気の中でおやつを食べたり、宿題をしたり、友達と遊びながらゆったり過ごすそういうスペースである。幼稚園児にとっても、預かり保育というのはそういうスペースであってほしい。今、先生が・今の状況では中途半端であり、しっかりした体制を作ってほしい。その時に、学童保育のあり方が参考になるのではないか。確かに、幼児教育は2時までで十分だと思う。小学校の1年生も午前中で帰ってくるわけであるし。ただ、どうしても預かってほしいという時に小学校なら学童保育がある。学童保育というのは、学校から一旦気持ちの上で切れて、家庭的な雰囲気の中でおやつを食べたり、宿題をしたり、友達と遊びながらゆったり過ごすそういうスペースである。幼稚園児にとっても、預かり保育というのはそういうスペースであってほしい。今、先生が自分の仕事を放っておいて、子供達の面倒を見るというのは無理があるし、先生の時間を確保することも必要である。子供も先生と一緒に幼稚園の続きになってしまうので、子供にとってもよくない。専門の指導者とともに過ごすスペースを作ってもらえたらと思う。
公私の財政面での格差	公立・私立、幼稚園・保育園の財政的な格差を是正してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の方にもっと幼稚園、保育園に関係なく、子供に対するお金を入れていただきたい。 ・保育園の立場からの話だが、公立幼稚園のお子さんには年間3億円から4億円のお金が投入され、園児一人当たり102万円から110万円のお金が出ていることは紛れもない事実であるということがホームページに出ていたが、同じ桐生にすんでいる幼児に対する格差を減らしていただきたい。 ・市立幼稚園は105万円を公費から出ている。しかし、新里の幼稚園に通っているお母さん方は一銭ももらっていない。同じ桐生市でこんなに格差があってもいいの。旧桐生市の樹徳さんと桐丘さんも同じ。好きでやっているのだからいいじゃないのという人もいるかもしれない。しかし、同じ市民であり、市民税はみんな払っている。
私立幼稚園、保育園を含めた幼児教育の在り方	公立、私立、幼稚園、保育園に関係なく、等しく幼児教育を受けられるようにしてほしい。 桐生市全体の幼児教育を考えるような会を作ってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期に合った教育をしてほしいという思いは幼稚園でも保育園でも同じだと思う。 ・桐生市の子供をどうのようにさせたいのか、どういう育ちを目指すのか、というビジョンがほしい。その中で公立幼稚園はどういった役割を果たしていくのか、たった20%くらいしか公立幼稚園には通っていないわけだが、公立幼稚園だけがよい幼稚園であればよいわけではなく、桐生市全体の子供のことを考えなくてはならない。これは絶好の機会なので、私立の幼稚園などと一緒になって、桐生の子供たち全員が隔てなくよい幼児教育を受けられるように考えてもらいたい。その牽引役を公立幼稚園がしていくのではないだろうか。そうならば、理想的な桐・桐生市の子供をどうのようにさせたいのか、どういう育ちを目指すのか、というビジョンがほしい。その中で公立幼稚園はどういった役割を果たしていくのか、たった20%くらいしか公立幼稚園には通っていないわけだが、公立幼稚園だけがよい幼稚園であればよいわけではなく、桐生市全体の子供のことを考えなくてはならない。これは絶好の機会なので、私立の幼稚園などと一緒になって、桐生の子供たち全員が隔てなくよい幼児教育を受けられるように考えてもらいたい。その牽引役を公立幼稚園がしていくのではないだろうか。そうならば、理想的な桐生の幼児教育ができ、桐生市のどこに住んでも素晴らしい幼児教育を受けられる市になっていくと思う。統合して子供が少なくなっているから衰退していくのではなくて、発展していくように考えてもらいたい。 ・旧桐生市と新里と黒保根を含めた幼児教育のあり方を考えるべきであって、幼稚園、保育園、公立、私立ということとは関係ない。 ・群馬県の教育委員会で幼稚園、保育園のそれぞれの担当者を集めて、教育課程研修会というものを開いて、それぞれの幼稚園、保育園でどんな研究をしているのかということをやっている。(桐生市も、幼稚園、保育園、公立、私立を含めた)大所高所から幼児教育を考える、もう少し広げた会を作ってほしい。
幼保一元化	幼保一元化は考えなくてよいのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保一元化を考えなくてよいという結論を簡単にしてしまったようだが、本当にそれでよいのか。幼稚園も保育園もなく、2時まで幼児教育、それ以降は保育という形を考えておくことも、地域に残るといことになるのかもかもしれないのでは。